

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公開番号】特開2011-173383(P2011-173383A)

【公開日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2011-036

【出願番号】特願2010-40636(P2010-40636)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

B 6 5 H 5/22 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 101Z

B 6 5 H 5/22 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月26日(2012.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記制御手段は、前記記録媒体の搬送方向後端にいくに従い前記非接触式記録媒体抑え手段の押圧力を高くすることを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記制御手段は、前記記録媒体の搬送方向後端通過時のみ、前記非接触式記録媒体抑え手段で押圧することを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記制御工程は、前記記録媒体の搬送方向後端にいくに従い、前記非接触式記録媒体抑え工程の押圧力が高くなるように制御することを特徴とする請求項9に記載の画像形成方法。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項11

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項11】

前記制御工程は、前記記録媒体の搬送方向後端通過時のみ、前記非接触式記録媒体抑え工程で押圧するように制御することを特徴とする請求項9に記載の画像形成方法。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0144

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0144】

水溶性とは、水に一定濃度以上溶解できることをいい、水性のインク中に（望ましくは均一に）溶解し得るものであればよい。また、後述する水溶性有機溶剤を添加することにより溶解度が上がってインク中に（望ましくは均一に）溶解するものであってもよい。具体的には、水に対する溶解度が10質量%以上であることが好ましく、15質量%以上であることがより好ましい。